

Ⅱ 履修の手引き

Ⅰ
短・学修の手引き

Ⅱ
短・履修の手引き

Ⅲ
学籍について

Ⅳ
専攻科
学修・履修の手引き

Ⅴ
関係規程集

1 履修の方法について

(1) 本学の教育課程

私立大学には創設者の建学の理想があります。本学では、その理想を実現するため、短期大学のディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）を定め、それに基づいて各学科のディプロマ・ポリシーを設定して、特色ある教育活動を行っています。

それぞれの学科では、上記の方針に基づいて、さまざまな授業科目を開講しており、また、授業科目を段階的・系統的に分類し整理した教育課程(カリキュラム)を作成しています。

本学の教育課程は、学修の区分として①共通教育科目、②専門教育科目の2つの領域が設定されています。学生は、それぞれの領域にわたって、定められた数の単位を履修して、必修科目を習得し、卒業に必要な単位(卒業要件単位)を充足しなければなりません。これを一覧表にしてまとめて示したものが教育課程表です。

(2) 共通教育科目

共通教育科目は、「比治山ベーシック科目」と「教養科目」とで編成されています。教育課程表に基づいて履修してください。

「比治山ベーシック科目」

「スタートアップ」「キャリア形成」「コミュニケーションリテラシー(日本語・外国語・情報)」の3分野からなり、本学の卒業生として一定水準のスキルや能力を身につけることをねらいとする科目が設定されています。分野ごとに必修科目と選択科目に分けられていますので留意してください。

「教養科目」

生命の尊厳と創造性を学ぶための「人間」と「文化」、ひろしま・日本から国際社会を理解するための「社会(地域・国際)」の3つの分野に分かれ、履修すべき単位数が定められています。

履修に当たっては、科目構成や開講時期を理解した上で、自己の学修にとって有益となるようによく考えて選択してください。

また、授業科目によっては、履修定員が定められている科目があり、履修定員を超えた場合は、コンピュータによる抽選を行うことがあります。

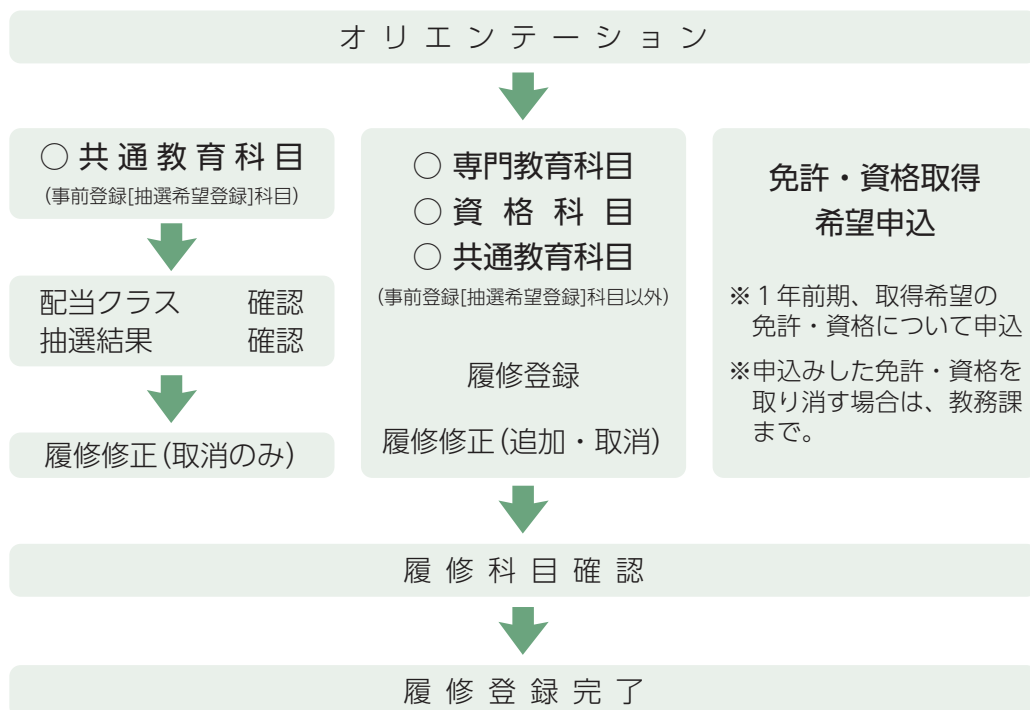
(3) 専門教育科目

学科ごとにその専門に応じて設けられた科目です。特長を生かした専門性の高い科目を系統的に学ぶことができます。専門教育科目の履修は、年次ごとに配当された科目を計画的に選択することになります。学科ごとにそれぞれ特色がありますので、説明をよく聞き具体的な科目を決めてください。

2 履修登録について

(1) 履修登録の流れ

履修登録・確認は、Hi!wayシステム(Web)により行います。
Hi!wayシステムは、学外のパソコンから利用することができます。詳細は「Hi!way・Google Workspace利用の手引き」で確認してください。



(2) 履修登録

履修登録については、オリエンテーションで各学科の教学委員から説明があります。
履修登録はHi!wayシステムにより行います。詳細については「履修の手引き」を参照してください。

(3) 再履修

指定されたセメスターに単位が修得できなかった場合は、次のセメスター以降に再び授業科目を履修することができます。これを再履修といいます。

(4) 他学科科目等の履修

他学科(所属する学科以外の学科)が提供した授業科目を履修することができます。
提供科目は各学科の教育課程表に記載してあります。修得した単位は、(6)、(7)などと合わせて卒業要件科目の単位に含めることができます。

(5) 教職課程に関連する科目の履修

教育職員免許状の取得を希望する学生のために教職課程に関連する科目を開講しています。

総合生活デザイン学科・美術科の学生で、教育職員免許状の取得を希望しない者も、教職課程に関連する科目を履修することができます。ただし、教育実習指導、教育実習Ⅰ～Ⅱ、家庭科教育法、美術科教育法、教職実践演習(中学校)、介護等体験指導、学校支援ボランティアは履修できません。

(6) 比治山大学 での特別聴講

比治山大学短期大学部の正規生が教育上有益と認められた場合は、比治山大学での授業科目を履修し、単位認定を受けることができます。この場合の学生は特別聴講学生として扱います。履修可能な授業科目、日程等は掲示でお知らせします。修得した単位は、(4)、(7)などと合わせて卒業要件単位に含めることができます。

(7) 他大学での 受講 (単位互換履修生)

本学を含む教育ネットワーク中国の単位互換協定を締結している大学・短期大学の学生はそれぞれ相互に所属外の大学の授業科目を履修し、単位認定を受けることができます。この場合の学生は単位互換履修生として扱います。履修可能な授業科目、日程等は掲示でお知らせします。なお、履修登録の手続きは後期科目を含み4月に行います。ただし、後期開講科目について、7月に申請が可能となる場合があります。修得した単位は、(4)、(6)などと合わせて卒業要件単位に含めることができます。

3 教育課程(カリキュラム・カリキュラムマップ・ナンバリング)について

(1) 共通教育科目

I. 比治山ベーシック科目について

「比治山ベーシック科目」は、本学の卒業生として一定水準のスキルや能力を身につけることをねらいとしています。

(1) スタートアップ

高校から大学へ、生徒から学生へ、「学び」の円滑な移行を意図しています。そのために、(1)建学の精神や教育理念を理解し、学生同士あるいは学生と教員との信頼関係を築きながら本学で学ぶ意欲を持つこと、(2)大学で学ぶための学修の基礎的な技術・方法を身につけること、(3)卒業後の就職あるいは進学への意識を高めることを目的としています。

(2) キャリア形成

「一人の人間として人生をいかに生きるか」という生涯にわたる人生設計を考えることを目的としています。一人ひとりが自分の将来を視野に入れ、社会人として活躍するための目標を設定します。個人ワークやグループワークを通し自己理解を深めながら、自発的に卒業後の進路を選択し、社会的に自立できる力を育んでいきます。

(3) コミュニケーションリテラシー

リテラシーとは、「読み書き能力」という意味です。急速な情報化、国際化を特徴とする現代社会においては、従来の「言語」によるリテラシーは当然ながら、コンピュータを中心とした情報機器を活用するためのリテラシーが求められています。本学では、「日本語」「外国語」「情報」の3つのスキルを「コミュニケーションリテラシー」と位置付けて、大学や社会で通用する水準まで<読む><書く><聞く><話す>能力を高めていくことを目指していきます。

① 日本語

現代社会の一員として必要とされる日本語能力を確実に身につけることを目的としています。少人数の演習形式により、日本語表現の基本的な知識を学ぶとともに、小論文やレポートなどの文章表現、スピーチや発表、ディスカッションなどの口頭表現の基本を学びます。「日本語リテラシー」(1年前期)を必修科目として、その習熟度や学修の必要性に応じたトラック制(基礎トラック/発展トラック)によって、きめ細かく個別に指導を行っていきます。

②外国語

国際化の進む現代社会の一員として、自発的かつ創造的に外国語を運用できる能力の育成を目的としています。英語では、習熟度別クラス編成により、英語の基礎的な能力を身につけます。「英語リテラシー」(1年前期)を必修科目として、学修の必要性に応じたトラック制(基礎トラック/発展トラック)によって、きめ細かく個別に指導を行っていきます。さらに、英会話ではネイティブスピーカーを中心としたスタッフによって実践的な英語力を高めていきます。また、中国語とハングルでは、基礎的な運用能力養成に加えて、文化的な側面の学修など、国際社会で求められる知識を養っていきます。

③情報

本学の情報利用環境になじみ、授業や自学自習・資格取得のために必要な情報活用能力を身につけます。「情報リテラシー」(1年前期)を必修科目として、「情報受発信能力」、「表現力」、「問題解決能力」を一定レベルまで高める学修プログラムによって、大学生活でそして社会人になっても不可欠な情報関連の基礎技能を修得していきます。

II. 教養科目について

教養科目は、特定の分野に偏らない広い視野を持った人材を育成することを目的としています。大学・短期大学部の教員が授業を担当していますので、学科の枠および専門分野を超えて学修できます。

教養科目は、生命の尊厳と創造性を学ぶための「人間」と「文化」、ひろしま・日本から国際社会を理解するための「社会(地域・国際)」の3つの分野で構成されています。

教養科目の特色は、次のようにまとめられます。

- (1) 各分野にコアとなる総合的科目を設定し、学際的なテーマをオムニバス方式やチームティーチングなどによって、専門分野の異なる複数の教員が多方面からアプローチします。
- (2) アクティブ・ラーニング(能動的学習)を重視し、学生が主体的に参画できる学生参加型の授業科目を多く導入しています。学びの場も、教室だけに限らず、大学の外へ飛び出して、施設見学、制作・創作活動、フィールドワークを行います。
- (3) 地域の文化を知ることによって、世界のさまざまな文化(異文化)を理解できるようにし、グローバル、すなわち、グローバル(国際性)とローカル(地域性)との調和を図っています。
- (4) 他大学、短期大学との単位互換授業科目、高大連携による公開授業科目など開かれた授業を目指しています。

授業科目区分		授業科目	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期				卒業要件		
					必修	選択	1年次		2年次				
							前期	後期	前期	後期			
比治山ベリック科目	スタートアップ	初年次セミナー	演習	30	2		○					2単位	
	キャリア形成	キャリアデザイン	講義	30	2			○				必修を含め 2単位以上	
		キャリアデザイン演習	演習	30		2				○			
		インターンシップA	実習	45		1				○			
		インターンシップB	実習	90		2				○			
	コミュニケーションリテラシー	日本語	日本語リテラシー	演習	30	1		○					必修を含め 1単位以上
			日本語表現	演習	30		1		○				
			日本語基礎	演習	30		1		○				
		外国語	英語リテラシー	演習	30	1		○					必修を含め 1単位以上
			英語Ⅰ	演習	30		1		○				
			英語基礎Ⅰ	演習	30		1		○				
			英会話Ⅰ	演習	30		1	○					
			英会話Ⅱ	演習	30		1		○				
			中国語Ⅰ	演習	30		1	○					
			中国語Ⅱ	演習	30		1		○				
			ハングルⅠ	演習	30		1	○					
			ハングルⅡ	演習	30		1		○				
		情報	情報リテラシー	演習	30	1		*					必修を含め 1単位以上
			文書デザイン演習	演習	30		1	*	*				
			表計算演習	演習	30		1		*	*			
			データサイエンス入門	演習	30		2		○				
			プログラミング基礎	演習	30		2			○			
教養科目		人間	人間と生命	講義	30		2	○					12単位以上
	こころの科学A		講義	30		2		○					
	こころの科学B		講義	30		2	○						
	こころの健康A		講義	30		2	○						
	こころの健康B		講義	30		2		○					
	人間の発達A		講義	30		2		○					
	人間の発達B		講義	30		2	○						
	からだを科学する		講義	30		2	○	○					
	食事と健康		講義	30		2		○					
	ウエルネス論		講義	30		2		*					
	スポーツA		実技	30		1	*	*					
	スポーツB		実技	30		1							
	文化	現代の文化	講義	30		2	○					4単位以上 選択必修	
		子どもの文化	講義	30		2		○					
		日本の文学を読む	講義	30		2	○						
		世界の文学を読む	講義	30		2	○						
		ことばの世界	講義	30		2	○						
		美術の世界	講義	30		2	○						
		音楽の世界	講義	30		2		○					
		日本の映画を観る	講義	30		2	○						
		世界の映画を観る	演習	30		2	○						
		くらしの数学	演習	30		2	○						
		文芸への誘い	演習	30		2		○					
		美術を体験する	演習	30		2		○					
	社会（地域・国際）	地域文化を体験するA	演習	30		2	○						
		地域文化を体験するB	演習	30		2		○					
		ひろしま学A	講義	30		2	○						
		ひろしま学B	講義	30		2		○					
		日本国憲法	講義	30		2	*	*					
		人権を考える	講義	30		2		○					
		ボランティアワークⅠ	演習	30		2	○						
		ボランティアワークⅡ	演習	30		2		○					
		異文化を知る	講義	30		2	○	○					
		世界と日本A	講義	30		2	○						
		世界と日本B	講義	30		2		○					
		地球環境を考えるA	講義	30		2	○						
		地球環境を考えるB	演習	30		2	○						
		Hijiyama Global Studies 海外実習	実習	60		2		○					

なお、下記の科目については、開講時期が学科毎に設定されています。

	1 年次		2 年次	
	前期	後期	前期	後期
情報リテラシー	総生・美・幼			
文書デザイン演習	総生	美・幼		
表計算演習		総生	美・幼	
日本国憲法	幼	総生・美		

幼：幼児教育科 総生：総合生活デザイン学科 美：美術科

教育課程表の見方

教育課程表には授業科目の分野、授業科目名、授業の方法、授業時間数、単位数(卒業要件上の必修・選択の区分)、開講時期、卒業(修了)要件について表記してあります。

授業すべき時間数	開講時期において行う教室内での授業時間数の合計時間数を示します。
単位数	必修科目－必ず履修しなければならない科目の単位数 選択科目－自由に選択できる科目(ただし、卒業のためには区分ごとに必要な単位を履修しなければなりません。)
開講時期	開講時期の○印は、その学期に開講する科目を示しています。 開講時期の◎印の授業科目は1～2年次にも開講されますが、2年次の専門科目と同時開講となる場合があります。 履修条件については、「履修の手引き」で確認してください。 開講時期の*印の授業科目はオリエンテーションの履修指導、時間割等により確認してください。
卒業要件	単位修得表で授業科目区分ごとの要件を確認して、卒業に必要な最低単位以上選択履修してください。

共通教育のコア・アクティブ・ラーニング科目

1年次に開講される以下の4科目が共通教育のコア・アクティブ・ラーニング科目です。

1C0-1011 初年次セミナー

OC0-1111 キャリアデザイン

OD0-1211 日本語リテラシー

OD0-1311 英語リテラシー

(2) 専門教育科目 幼児教育科 教育課程表

<2023年度入学生>

領分 域野		授業科目名	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期				資格免許に必要な科目		提供科目
					必修	選択	1 年次		2 年次		幼稚園教諭二	保育士資格	
							前	後	前	後			
							I	II	III	IV			
専門教育科目	保育の本質・目的の理解	教育基礎論	講義	30	2		○				◎	◎	
		保育者論	講義	30	※	2	○				◎	◎	
		社会福祉	講義	30	※	2				○		◎	☆
		子ども家庭福祉	講義	30	※	2		○				◎	
		子ども家庭支援論	講義	30		2				○		◎	
		保育原理Ⅰ	講義	30		2	○					◎	☆
		保育原理Ⅱ	講義	30		2				○		*	
		社会的養護Ⅰ	講義	30		2			○			◎	
	保育の対象の理解	教育心理学	講義	30	※	2		○			◎	*	
		保育の心理学	講義	30		2	○					◎	
		子ども家庭支援の心理学	講義	30		2				○		◎	
		子ども理解の理論と方法	演習	30		1				○	◎	◎	
		子どもの保健	講義	30		2	○					◎	
		子どもの食と栄養	演習	30		2				○		◎	
	保育の内容・方法の理解	教育課程論	講義	30	2			○			◎	◎	
		教育方法論	講義	30	※	2			○		◎	*	
		保育内容総論	演習	30		1	○					◎	
		領域健康の基礎	演習	30		1	○				◎	◎	
		領域人間関係の基礎	演習	30		1		○			◎	◎	
		領域環境の基礎	演習	30		1		○			◎	◎	
		領域言葉の基礎	演習	30		1	○				◎	◎	
		領域表現の基礎A	演習	30		1	○				◎	*	
		領域表現の基礎B	演習	30		1	○				◎	*	
		領域健康の指導法	演習	30		1		○			◎	◎	
		領域人間関係の指導法	演習	30		1			○		◎	◎	
		領域環境の指導法	演習	30		1			○		◎	◎	
		領域言葉の指導法	演習	30		1		○			◎	◎	
		領域表現の指導法A	演習	30		1		○			◎	◎	
		領域表現の指導法B	演習	30		1		○			◎	*	
		保育内容(総合表現)Ⅰ	演習	30		1			○		◎	*	
		保育内容(総合表現)Ⅱ	演習	30		1				○	◎	*	
		特別支援教育(保育)	演習	30		2			○		◎	◎	
		社会的養護Ⅱ	演習	30		1				○		◎	
		教育相談	演習	30		2			○		◎	*	
		乳児保育Ⅰ	講義	30		2		○				◎	☆
		乳児保育Ⅱ	演習	30		1			○			◎	
		子どもの健康と安全	演習	30		1		○				◎	
		子育て支援	演習	30		1				○		◎	
		音楽ベーシックⅠ	演習	30	1		○				◎	*	
		音楽ベーシックⅡ	演習	30	1			○			◎	*	

<2023年度入学生>

領 域 分		授業科目名	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期				資格免許に必要な科目		提供科目
					必修	選択	1 年次		2 年次		幼稚園教諭二	保育士資格	
							前	後	前	後			
							I	II	III	IV			
専門教育科目	保育の実践と研究	幼稚園教育実習事前・事後指導	講義	30		1		○	○	(○)	◎		
		幼稚園教育実習	実習	180		4		(○)	(○)	(○)	◎		
		保育実習指導Ⅰ	演習	60		2		○	○			◎	
		保育実習指導Ⅱ	演習	30		1			○	(○)		]1	
		保育実習指導Ⅲ	演習	30		1			○	(○)			
		保育実習Ⅰ	実習	180		4		(○)	(○)			◎	
		保育実習Ⅱ	実習	90		2			(○)	(○)		]2	
		保育実習Ⅲ	実習	90		2			(○)	(○)			
		保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	30		2				○	◎	◎	
		総合演習	演習	30	2			○					
		特別研究Ⅰ	演習	30	1				○				
		特別研究Ⅱ	演習	30	1					○			
		卒業研究			2				○				

※から6単位以上、*から6単位以上

()は集中講義

☆は、総合生活デザイン学科、美術科への提供科目です。

卒業に必要な単位数

学科コース		幼児教育科			
授業科目区分					
共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修 2 単位	12単位
		キャリア形成		必修を含め、 2 単位以上	
		コミュニケーション リテラシー	日本語	必修を含め、 1 単位以上	
			外国語	必修を含め、 1 単位以上	
			情 報	必修を含め、 1 単位以上	
	教養科目		4 単位以上選択必修		
専門教育科目	必修		10単位		40単位
	選択		保育者論，社会福祉，子ども家庭福祉，教育心理学，教育方法論の中から 6 単位および他の選択科目から24単位以上		
卒業研究		2 単位			
計		66単位 ※			

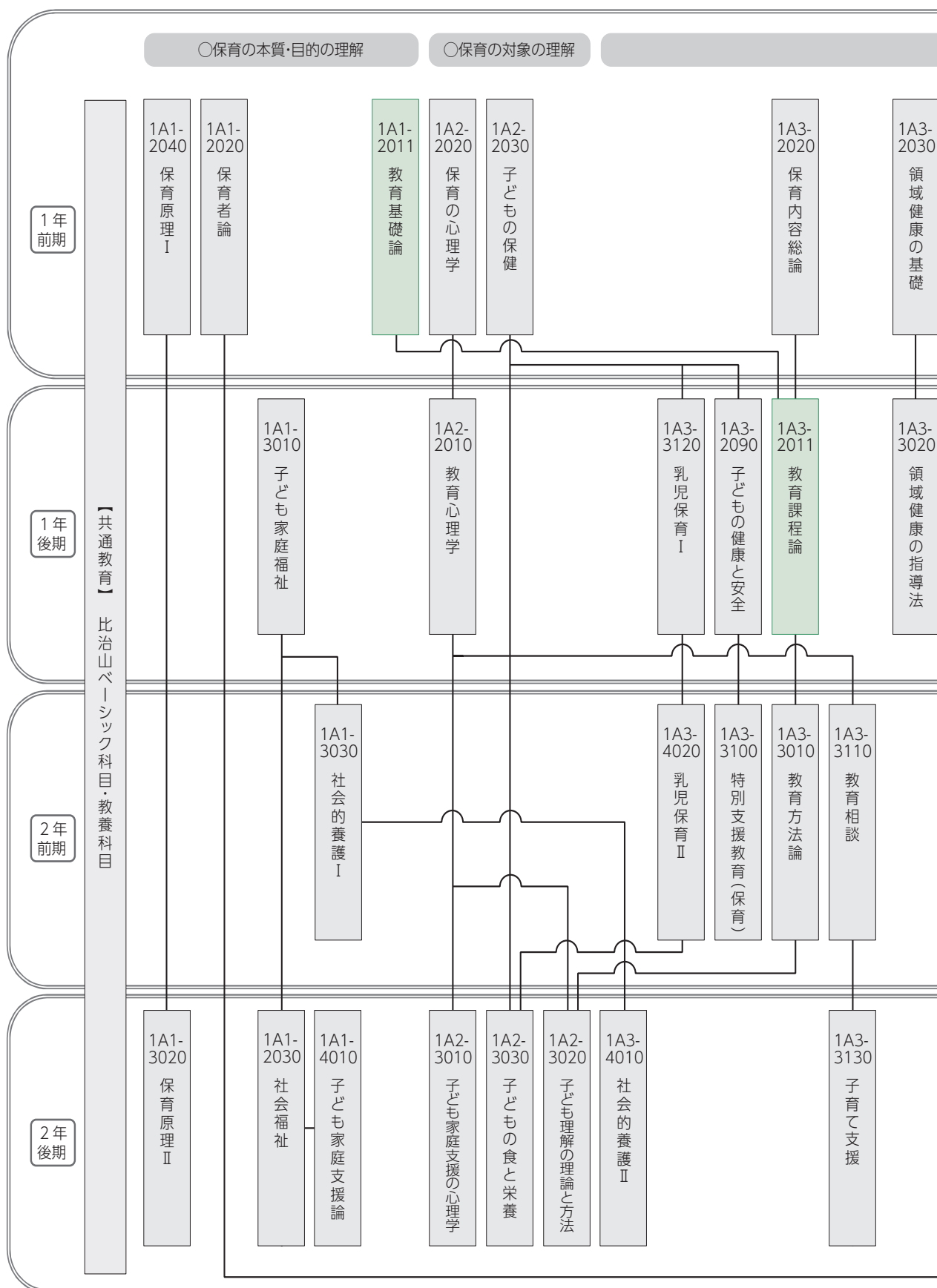
※他学科提供の専門教育科目，比治山大学特別聴講科目，他大学単位互換科目の修得単位は，卒業要件単位に含まれます。

- 1) 卒業要件を充足するためには，必修科目および※印を付した選択科目(保育者論，社会福祉，子ども家庭福祉，教育心理学，教育方法論の中から 6 単位)の他に専門教育科目の選択科目から 24 単位以上を修得しなければならない。
- 2) ◎印は免許・資格取得のための必修科目を，*印は保育士資格取得のための選択科目を示す。

教育課程表の見方

教育課程表には授業科目の分野，授業科目名，授業の方法，授業時間数，単位数(卒業要件上の必修・選択の区分)，開講時期，卒業(修了)要件，資格等要件について表記してあります。

授業すべき時間数	開講時期において行う教室内での授業時間数の合計時間数を示します。
単位数	必修科目－必ず履修しなければならない科目の単位数 選択科目－所属する学科で決められた科目群の中から自由に選択できる科目(ただし，卒業のためには区分ごとに必要な単位を履修しなければなりません。)
開講時期	○は，開講される時期(セメスター)を示しています。(○)は集中講義を示します。すべての科目には学修効果の観点から，履修年次が指定されています。この履修年次にしたがって修得してください。
卒業要件	単位修得表で授業科目区分ごとの要件を確認して，卒業に必要な最低単位以上選択履修してください。
資格等の要件	どの資格についても卒業要件を満たすことを最低条件とし，◎は，その資格取得上必修条件となっている科目について示しています。また，資格には教育課程表に示しきれない要件もありますので，該当する資格のページをよく参照して取りこぼしのないように履修計画をたててください。



学科の目的や目標を達成するために必要な授業科目の流れとつながりをわかりやすく示しています。併せてナンバリングで授業科目の学問分野や難易度を分類することで学修の段階が分かるようにしています。

ナンバリングのコード規則

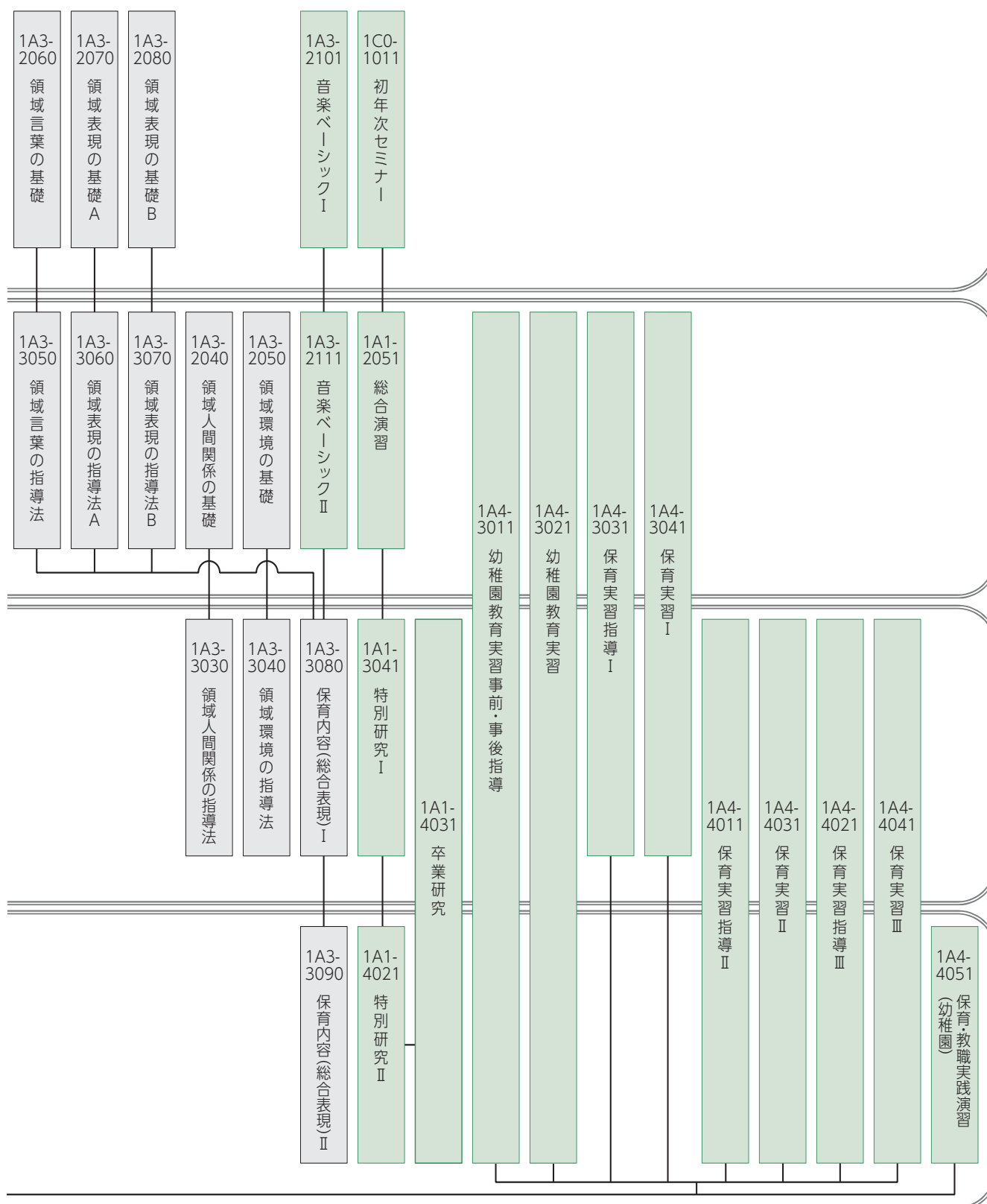
(例) 1 A4 - 3 02 1 「幼稚園教育実習」

[学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [コア・アクティブ・ラーニング科目]

コア・アクティブ・ラーニング科目

○保育の内容・方法の理解

○保育の実践と研究

ナンバリング
各コードの詳細

〔学部番号〕

1 短期大学部

〔学問分野〕

A1	幼児教育コア科目 (基礎科目・特別研究などの必修系)
A2	保育の対象の理解
A3	保育の内容・方法の理解
A4	保育の実践と研究

〔難易度〕

1	レベル 1 共通教育
2	レベル 2 基礎
3	レベル 3 専門
4	レベル 4 発展

〔通し番号〕

01 順次

〔コア・アクティブ・ラーニング科目〕

1	コア・アクティブ・ラーニング科目
0	コア・アクティブ・ラーニング科目以外

(3) 専門教育科目 総合生活デザイン学科 教育課程表

<2023年度入学生>

授業科目区分			授業科目名	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期		資格免許に必要な科目				検定受験のための推奨科目										提供科目			
						必修	選択	1年次		2年次		中学校教諭二家	秘書士	上級秘書士	観光実務士	フードコーディネーター3級	食生活アドバイザー検定	ファッション販売能力検定	ブライダルプランナー検定	ドレススタイリスト検定	CAD利用技術者試験	リビングスタイリスト検定	メディカル・クラーク		秘書技能検定	観光英語検定	日商簿記検定
								前	後	前	後																
								I	II	III	IV																
共通専門科目	総合生活デザイン	総合生活デザイン	講義	30	2			○																			
		総合生活デザイン演習Ⅰ	演習	30	2			○																			
		総合生活デザイン演習Ⅱ	演習	30	2				○																		
		総合生活デザイン演習Ⅲ	演習	30	2					○																	
	生活達人チャレンジプログラム	生活達人チャレンジプログラムⅠ	演習	30		1	(○)																				
		生活達人チャレンジプログラムⅡ	演習	30		1		(○)																			
	生活	衣生活論	講義	30	2		○			◎				*	*	*											
		食生活論	講義	30	2		○				◎	*											☆				
		住生活論	講義	30	2	○				◎							*	*					☆				
		簿記入門	講義	30	2		○					◎	◎								*						
	人間	人間関係論(含家族関係)	講義	30	2				○	◎			◎											☆			
		保育学	講義	30	2		○			◎																	
		医療事務Ⅰ	講義	30	2	○													*								
		医療事務Ⅱ	講義	30	2		○												*								
		医療事務Ⅲ	講義	15	1		(○)												*								
	キャリア	必修型 秘書士	秘書実務	演習	30	2		○				◎	◎								*						
			秘書学入門	講義	30	2			○				◎	◎							*			☆			
			プレゼンテーション	講義	30	2		○					◎	◎	◎						*						
			ビジネス実務基礎	講義	30	2		○					◎	◎							*						
			生活経営学	講義	30	2				○	◎	◎			◎						*						
必修型検定		生活創造実践演習	演習	30	2			○							*	*			*		*	*					

授業科目区分		授業科目名	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期				資格免許に必要な科目		検定受験のための推奨科目												提供科目	
													1年次	2年次												
							必修	選択	前	後					前	後	中学校教諭一家	秘書士	上級秘書士	観光実務士	フードコーディネーター3級	食生活アドバイザー検定	ファッション販売能力検定	ブライダルプランナー検定		ドレススタイリスト検定
					I	II					III	IV														
系列専門科目	上級秘書系列	秘書総合演習	演習	30		2				○				◎									*			
		接遇演習	演習	30		2				○				◎									*			
		社会行動と心理	講義	30		2		○						◎									*			
		社会調査	講義	30		2		○						◎	◎								*			
	観光ビジネス系列	観光総論	講義	30		2		○						◎										*		
		観光実務	演習	30		2		○						◎										*		
		世界遺産	講義	30		2			○					◎										*		
		ひろしまの観光資源	講義	30		2	○							◎										*		
		旅行関連法規	講義	30		2			○					◎										*		☆
		観光英会話	演習	30		2			○					◎										*		
		おもてなし論	演習	30		2				○				◎	◎									*		
		観光ビジネストレンド	講義	30		2				○				◎										*		
		ファッション・ブライダル系列	ファッションデザイン	演習	30		2		○									*	*	*						
	ファッションコーディネート		演習	30		2			○								*	*	*							
	ファッション造形実習Ⅰ		実習	30		1	○				◎						*	*	*							
	ファッション造形実習Ⅱ		実習	30		1		○									*	*	*							
	ファッションビジネストレンド		講義	30		2				○							*	*	*							
	ブライダル入門		講義	30		2	○										*	*	*							
	ブライダルⅠ		講義	30		2		○									*	*	*							
	ブライダルⅡ		講義	30		2			○								*	*	*							
	ブライダル演習Ⅰ		演習	30		2		○									*	*	*							
	ブライダル演習Ⅱ		演習	30		2				○							*	*	*							
	フード系列	フードデザイン	講義	30		2		○						◎	*											
		フードコーディネート	演習	30		2				○				◎	*											
		フードビジネストレンド	講義	30		2			○					◎	*											
		食生活実習Ⅰ	実習	30		1	○				◎			◎	*											
		食生活実習Ⅱ	実習	30		1		○						◎	*											
		食品学	講義	30		2			○		◎			◎	*											
		栄養学	講義	30		2		○			◎			◎	*											
		製菓実習	実習	60		2			○						*											
		フランス料理実習	実習	60		2				○				◎	*											
	ハウス・インテリア系列	空間表現技法	演習	30		2	○												*							
		住・インテリア計画	講義	30		2			○										*	*						
		CAD演習	演習	30		2		○											*							
		住・インテリア設計製図	演習	30		1			○										*							
		インテリアデザインⅠ	講義	30		2		○											*	*						
		インテリアデザインⅡ	講義	30		2			○										*	*						
		インテリアコーディネート	演習	30		2		○											*	*						
		インテリアデザイン実習	実習	30		1	○												*	*						
		インテリアビジネストレンド	講義	30		2				○									*	*						
卒業研究				2				○																		

◎は資格取得に必修、*は検定受験のための推奨科目、()は集中講義
☆は、幼児教育科、美術科への提供科目です。

卒業に必要な単位数

授業科目区分	総合生活デザイン学科			
	学科コース			
共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修 2 単位
		キャリア形成		必修を含め、2 単位以上
		コミュニケーションリテラシー	日本語	必修を含め、1 単位以上
			外国語	必修を含め、1 単位以上
			情報	必修を含め、1 単位以上
		教養科目		4 単位以上選択必修
専門教育科目		必修		20単位
		選択		18単位以上
卒業研究		2 単位		
計		64単位 ※		

※教職専門科目，他学科提供の専門教育科目，比治山大学特別聴講科目，他大学単位互換科目の修得単位は，卒業要件単位に含まれます。

教育課程表の見方

教育課程表には授業科目の分野，授業科目名，授業の方法，授業時間数，単位数(卒業要件上の必修・選択の区分)，開講時期，卒業(修了)要件，資格等要件について表記してあります。

授業すべき時間数	開講時期において行う教室内での授業時間数の合計時間数を示します。
単位数	必修科目－必ず履修しなければならない科目の単位数 選択科目－所属する学科で決められた科目群の中から自由に選択できる科目(ただし，卒業のためには区分ごとに必要な単位を履修しなければなりません。)
開講時期	○は，開講される時期(セメスター)を示しています。(○)は集中講義を示します。すべての科目には学修効果の観点から，履修年次が指定されています。この履修年次にしたがって修得してください。
卒業要件	単位修得表で授業科目区分ごとの要件を確認して，卒業に必要な最低単位以上選択履修してください。
資格等の要件	どの資格についても卒業要件を満たすことを最低条件とし，◎は，その資格取得上必修条件となっている科目，*は検定受験のための推奨科目について示しています。また，資格には教育課程表に示しきれない要件もありますので，該当する資格のページをよく参照して取りこぼしのないように履修計画をたててください。

		1 年前期	1 年後期
		【共通教育】 比治山ベーシック科目・教養科目	
共通専門科目	共通専門科目と卒業研究		1F1-2010 総合生活デザイン 1F1-2021 総合生活デザイン演習I
	生活達人チャレンジプログラム		1F1-3050 生活達人チャレンジプログラムI
	生活	1F1-2091 住生活論	1F1-2070 衣生活論 1F1-2110 簿記入門 1F1-2080 食生活論
	人間	1F1-2140 医療事務I	1F1-2150 医療事務II 1F1-2160 医療事務III 1F1-2130 保育学
系列専門科目	キャリア	1F1-2170 秘書実務 1F1-2190 プレゼンテーション	1F1-2201 ビジネス実務基礎
	上級秘書系列		1F2-2031 社会行動と心理 1F2-3051 社会調査
	観光ビジネス系列	1F3-2040 ひろしまの観光資源	1F3-2011 観光総論 1F3-2021 観光実務
	ファッション・ブライダル系列	1F4-2031 ファッション造形実習I 1F4-2110 ブライダル入門	1F4-2011 ファッションデザイン 1F4-2041 ファッション造形実習II 1F4-2060 ブライダルI 1F4-2081 ブライダル演習I
	フード系列	1F5-2041 食生活実習I	1F5-2010 フードデザイン 1F5-2051 食生活実習II 1F5-2070 栄養学
	ハウス・インテリア系列	1F6-2010 空間表現技法 1F6-2080 インテリアデザイン実習	1F6-2030 CAD演習 1F6-2050 インテリアデザインI 1F6-3070 インテリアコーディネート

学科の目的や目標を達成するために必要な授業科目の流れとつながりをわかりやすく示しています。併せてナンバリングで授業科目の学問分野や難易度を分類することで学修の段階が分かるようにしています。

ナンバリングのコード規則

(例) 1 F 1 - 2 02 1 「総合生活デザイン演習 I」
 [学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [コア・アクティブ・ラーニング科目]

コア・アクティブ・ラーニング科目

2 年 前期		2 年後 期	
【共通教育】 比治山ベーシック科目・教養科目			
1F1-4031 総合生活デザイン演習Ⅱ		1F1-4041 総合生活デザイン演習Ⅲ	
1F1-4061 生活達人チャレンジプログラムⅡ			
		1F1-2120 人間関係論(含家族関係)	
1F1-2181 秘書学入門		1F1-2210 生活経営学	
1F1-3231 生活創造実践演習			
		1F2-4011 秘書総合演習	
1F2-2020 接遇演習			
1F3-2030 世界遺産		1F3-2070 おもてなし論	
1F3-3050 旅行関連法規		1F3-4080 観光ビジネストレンド	
1F3-2061 観光英会話			
1F4-2020 ファッションコーディネート		1F4-4050 ファッションビジネストレンド	
1F4-2070 プライダルⅡ		1F4-2090 プライダル演習Ⅱ	
1F5-4031 フードビジネストレンド		1F5-3020 フードコーディネート	
1F5-2060 食品学		1F5-2090 フランス料理実習	
1F5-2080 製菓実習			
1F6-2021 住・インテリア計画		1F6-4090 インテリアビジネストレンド	
1F6-3041 住・インテリア設計製図			
1F6-2060 インテリアデザインⅡ			

1F1-4010
卒業研究

ナンバリング
各コードの詳細

【学部番号】

1 短期大学部

【学問分野】

F1	総合生活デザインコア科目 (基礎科目・特別研究などの必修系)
F2	上級秘書系列
F3	観光ビジネス系列
F4	ファッション・プライダル系列
F5	フード系列
F6	ハウス・インテリア系列

【難易度】

1	レベル 1 共通教育
2	レベル 2 基礎
3	レベル 3 専門
4	レベル 4 発展

【通し番号】

01 順次

【コア・アクティブ・ラーニング科目】

1	コア・アクティブ・ラーニング科目
0	コア・アクティブ・ラーニング科目以外

(4) 専門教育科目 美術科 教育課程表

<2023年度入学生>

授業科目 区分		授業科目名	授業 方法	授業 す べき 時 間 数	単位数		開講時期				備考	中学校 教諭二 美	提 供 科 目
					必修	選択	1年次		2年次				
							前 I	後 II	前 III	後 IV			
学科内共通科目	基礎実習科目	絵画・マンガ	演習	60	2		○					○	
		デザイン・映像	演習	60	2		○					○	
		工芸	演習	60	2		○					○	
		造形演習Ⅰ	演習	60		2		○					
		立体	演習	30		1	(○)					○	
	美術理論系科目	美術史Ⅰ	講義	30	2		○				美術史Ⅰを含め いずれかから 8単位以上 選択必修	○	
		美術史Ⅱ	講義	30		2		○				○	
		美術基礎論	講義	30		2	○						
		色彩学	講義	30		2	○					○	
		アート・プロデュース	講義	30		2			○				
		デザイン・造形論Ⅰ	講義	30		2			○				☆
		デザイン・造形論Ⅱ	講義	30		2			○				☆
		作品研究	演習	30		2		○					☆
		マンガ・アニメーション論	講義	30		2			○				
		美術史演習	演習	30		2				(○)			
		マンガ持込み演習	演習	30		2				(○)			
	CG系科目	CG演習Ⅰ	演習	30		2	○				CG演習Ⅰ,Ⅱの いずれか選択必修	○	
		CG演習Ⅱ	演習	30		2		○				○	
		映像CG演習	演習	30		2		○					
		3DCG演習	演習	30		2			○				
		ゲーム・キャラクターデザイン演習Ⅰ	演習	30		2			○				
		ゲーム・キャラクターデザイン演習Ⅱ	演習	30		2				○			
		WEBデザイン演習	演習	30		2						○	
コース専門科目	造形表現A	演習	60		2		○						
	造形表現B	演習	60		2		○						
	造形演習Ⅱ	演習	60		2			○					
	平面・素材表現	実技	60		2			○					
	ビジュアル表現	実技	60		2			○					
	特別制作	実技	60		2				○				
	日本画Ⅰ	実技	120		4			○			○		
	日本画Ⅱ	実技	120		4				○				
	洋画Ⅰ	実技	120		4			○			○		
	洋画Ⅱ	実技	120		4				○				
	工芸デザインⅠ	実技	120		4			○			○		
	工芸デザインⅡ	実技	120		4				○				
	マンガ・キャラクターⅠ	実技	120		4			○			○		
	マンガ・キャラクターⅡ	実技	120		4				○				
	映像・アニメーションⅠ	実技	120		4			○			○		
	映像・アニメーションⅡ	実技	120		4				○				
	グラフィックデザインⅠ	実技	120		4			○			○		
	グラフィックデザインⅡ	実技	120		4				○				
卒業制作				2				○					

◎印は資格取得のための必修科目，○は資格取得のための選択科目，（ ）は集中講義

☆は，幼児教育科，総合生活デザイン学科への提供科目です。

卒業に必要な単位数

学科コース		美術科				
授業科目区分						
共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修 2 単位		12単位
		キャリア形成		必修を含め、 2 単位以上		
		コミュニケーション リテラシー	日本語	必修を含め、 1 単位以上		
			外国語	必修を含め、 1 単位以上		
			情 報	必修を含め、 1 単位以上		
	教養科目		4 単位以上選択必修			
専門教育科目	学科内共通科目		必修を含め20単位以上		34単位	
	コース専門科目		14単位以上			
卒業制作		2 単位				
計		64単位 ※				

※教職専門科目，他学科提供の専門教育科目，比治山大学特別聴講科目，他大学単位互換科目の修得単位は，卒業要件単位に含まれます。

卒業要件を充足するためには，学科内共通科目の基礎実習科目から必修科目・美術理論系科目から必修科目を含め 8 単位以上・C G 演習Ⅰ・Ⅱから選択必修し合計20単位以上修得することと，コース専門科目の中から14単位以上を修得しなければならない。

教育課程表の見方

教育課程表には授業科目の分野，授業科目名，授業の方法，授業時間数，単位数(卒業要件上の必修・選択の区分)，開講時期，卒業(修了)要件，資格等要件について表記してあります。

授業すべき時間数	開講時期において行う教室内での授業時間数の合計時間数を示します。
単位数	必修科目ー必ず履修しなければならない科目の単位数 選択科目ー所属する学科で決められた科目群の中から自由に選択できる科目(ただし，卒業のためには区分ごとに必要な単位を履修しなければなりません。)
開講時期	○は，開講される時期(セメスター)を示しています。(○)は集中講義を示します。すべての科目には学修効果の観点から，履修年次が指定されています。この履修年次にしたがって修得してください。
卒業要件	単位修得表で授業科目区分ごとの要件を確認して，卒業に必要な最低単位以上選択履修してください。
資格等の要件	どの資格についても卒業要件を満たすことを最低条件とし，◎は，その資格取得上必修条件となっている科目，○は資格取得のための選択科目について示しています。また，資格には教育課程表に示しきれない要件もありますので，該当する資格のページをよく参照して取りこぼしのないように履修計画をたててください。

	1 年前期	1 年後期
	【共通教育】 比治山ベーシック科目・教養科目	
基礎実習科目	1L1-2011 絵画・マンガ 1L1-2021 デザイン・映像 1L1-2031 工芸 1L1-2060 立体	1L1-2111 造形演習I
美術理論系科目	1L2-3010 美術史I 1L2-2010 美術基礎論 1L2-3210 色彩学	1L2-3020 美術史II 1L2-3110 デザイン・造形論I 1L2-3310 作品研究
CG系科目	1L3-3010 CG演習I	1L3-3020 CG演習II 1L3-3030 映像CG演習
日本画コース		1L4-3051 造形表現A(日本画)
洋画コース		1L4-3051 造形表現A(洋画)
工芸デザインコース		1L4-3051 造形表現A(工芸デザイン)
グラフィックデザインコース		1L4-3061 造形表現B(グラフィックデザイン)
映像・アニメーションコース		1L4-3061 造形表現B(映像・アニメーション)
マンガ・キャラクターコース		1L4-3061 造形表現B(マンガ・キャラクター)

学科の目的や目標を達成するために必要な授業科目の流れとつながりをわかりやすく示しています。併せてナンバリングで授業科目の学問分野や難易度を分類することで学修の段階が分かるようにしています。

ナンバリングのコード規則

(例) 1 L 1 - 2 01 1 「絵画・マンガ」
 [学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [コア・アクティブ・ラーニング科目]

コア・アクティブ・ラーニング科目

2 年前期	2 年後期
【共通教育】 比治山ベーシック科目・教養科目	
1L2-3040 アート・プロデュース	
1L2-3120 デザイン・造形論II	
1L2-3130 マンガ・アニメーション論	
1L2-4110 美術史演習	
1L2-4120 マンガ持込み演習	
1L3-4030 3DCG演習	1L3-4020 WEBデザイン演習
1L3-4040 ゲーム・キャラクター演習I	1L3-4050 ゲーム・キャラクター演習II
1L4-4111 日本画I	1L4-4121 日本画II
1L4-4081 平面・素材表現	1L4-4011 特別制作
1L4-3121 造形演習II	
1L4-4211 洋画I	1L4-4221 洋画II
1L4-4081 平面・素材表現	1L4-4011 特別制作
1L4-3121 造形演習II	
1L4-4611 工芸デザインI	1L4-4621 工芸デザインII
1L4-4081 平面・素材表現	1L4-4011 特別制作
1L4-3121 造形演習II	
1L4-4511 グラフィックデザインI	1L4-4521 グラフィックデザインII
1L4-4041 ビジュアル表現	1L4-4011 特別制作
1L4-3121 造形演習II	
1L4-4411 映像・アニメーションI	1L4-4421 映像・アニメーションII
1L4-4041 ビジュアル表現	1L4-4011 特別制作
1L4-3121 造形演習II	
1L4-4311 マンガ・キャラクターI	1L4-4321 マンガ・キャラクターII
1L4-4041 ビジュアル表現	1L4-4011 特別制作
1L4-3121 造形演習II	

1L9-4011
卒業制作ナンバリング
各コードの詳細

【学部番号】
1 短期大学部

【学問分野】
L1 基礎実習科目
L2 美術理論系科目
L3 CG系科目
L4 コース専門科目

【難易度】
1 レベル 1 共通教育
2 レベル 2 基礎
3 レベル 3 専門
4 レベル 4 発展

【通し番号】
01 順次
【コア・アクティブ・ラーニング科目】
1 コア・アクティブ・ラーニング科目
0 コア・アクティブ・ラーニング科目以外

(5) 留学生科目

これらの授業科目は留学生だけが受講できる科目であり、学習状況に合わせて計画的に開設しています。(これらの授業科目は学則第22条(79頁参照)より共通教育科目の単位に代えることができます。詳しくはチューター又は教務課に確認してください。)

授業科目名	開講 セメスター	単位数		授業科目名	開講 セメスター	単位数	
		必修	選択			必修	選択
日本語ⅠA	1		1	日本語ⅡA	2		1
日本語ⅠB	1		1	日本語ⅡB	2		1
日本語ⅠC	1		1	日本語ⅡC	2		1
日本語ⅠD	1		1	日本語ⅡD	2		1
計							
							8

(6) 免許に関する 教育課程表

教職課程に 関連する科目

対象学科：総合生活デザイン学科・美術科

<2023年度入学生>

授業 科目 区分	授 業 科 目 名	授業 方法	授業 すべき 時間数	単位数		開講セメスター				中学校 教諭 二家	中学校 教諭 二美	提供 科目
				必修	選択	1 年次		2 年次				
						前期	後期	前期	後期			
教職課程に 関連する科目	家庭科教育法	講義	30		2		○			◎		
	美術科教育法	講義	30		2		○				◎	
	教育基礎論	講義	30		2		○			◎	◎	☆
	教職入門	講義	30		2	○				◎	◎	☆
	教育の制度と経営	講義	30		2				○	◎	◎	☆
	教育心理学	講義	30		2			○		◎	◎	☆
	特別支援教育論	講義	15		1		○			◎	◎	☆
	教育課程総論	講義	15		1			○		◎	◎	☆
	道徳教育の理論と方法	講義	15		1			○		◎	◎	☆
	総合的な学習の時間の指導法	講義	15		1		○			◎	◎	☆
	特別活動の指導法	講義	15		1			○		◎	◎	☆
	教育の方法と技術	講義	15		1			○		◎	◎	☆
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	講義	15		1				○	◎	◎	☆
	生徒・進路指導論	講義	30		2				○	◎	◎	☆
	教育相談(カウンセリングを含む。)	講義	30		2			○		◎	◎	☆
	教育実習指導	講義	15		1				○	◎	◎	
	教育実習Ⅰ	実習	90		2				○	◎	◎	
	教育実習Ⅱ	実習	90		2				○	◎	◎	
	教職実践演習(中学校)	演習	30		2					○	◎	◎
	介護等体験指導	演習	15		1				○		◎	◎
	学校支援ボランティア	実習	30		1			○			○	○

◎印は免許取得のための必修科目、○は選択科目。

教職課程に関連する科目は、学科の専門科目以外の教職課程の科目を示す。

教育職員免許状の取得を希望しない者も、教職課程に関連する科目のうち☆の科目を履修することができる。

中学校教諭二家・美＝中学校教諭二種免許状(家庭)・(美術)

4 免許・資格について

(1) 比治山大学短期大学部で取得できる免許・資格

本学においては、次のような免許・資格等が取得できます。詳しい内容については、それぞれの該当の箇所をよく読んで履修してください。

各学科で取得できる免許・資格等は次のとおりです。

免許・資格等	学科	幼児教育科	総合生活デザイン学科	美術科
中学校教諭二種免許状(家庭)			○	
中学校教諭二種免許状(美術)				○
幼稚園教諭二種免許状		○		
保育士資格(保育士証)		○		
秘書士資格認定証			○	
上級秘書士資格認定証			○	
観光実務士資格認定証			○	
フードコーディネーター3級			○	

免許・資格等取得に関わる費用

資 格	実習・その他	申請費用
中学校教諭二種免許状(家庭)	14,750円	3,400円
中学校教諭二種免許状(美術)	14,750円	3,400円
幼稚園教諭二種免許状	13,000円	3,400円
保育士資格(保育士証)	32,500円	4,200円
秘書士資格認定証	—	5,500円
上級秘書士資格認定証	—	7,700円
観光実務士資格認定証	—	5,500円
フードコーディネーター3級	—	6,000円

上記は、2023年1月現在の金額です。それぞれの協会等の都合により変動の可能性があります。掲示または配付物等で確認してください。また、中学校実習は実習校により実習費は変動します。

(2) 教育職員免許状の取得について

① 中学校教諭二種免許状(家庭)(美術)

総合生活デザイン学科・美術科の学生が、中学校教諭二種免許状(それぞれの教科は「家庭」「美術」)を取得するには、基礎資格(短期大学士の学位)を有し、また共通教育科目、教科及び教職に関する科目について所定の単位(最低修得単位)を修得しなければなりません。

免許状の種類	基礎資格	本学において修得することを必要とする授業科目の単位数	
		共通教育科目	教科及び教職に関する科目
中学校教諭二種免許状(家庭)	短期大学士の学位を有すること	9	45
中学校教諭二種免許状(美術)			45

中学校教諭二種免許状の取得希望者は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間の「介護等体験」を行わなければなりません。

共通教育科目
及び単位数

次表に示す科目毎に必要な単位数以上を履修してください。

免許法施行規則 に定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講時期			
				1 年次		2 年次	
		授業科目名	単位数	前期	後期	前期	後期
日本国憲法	2	◎ 日本国憲法	2		○		
体育	2	◎ スポーツA	1	○			
		◎ ウエルネス論	2		○		
外国語コミュニケーション	2	◎ 英語リテラシー	1	○			
		● 英語 I	1		○		
		● 英語基礎 I	1		○		
		● 英会話 I	1	○			
情報機器の操作	2	◎ 情報リテラシー	1	○			
		◎ 文書デザイン演習	1	総生	美		
		合計	9				

◎は教職必修科目 ●の中から1科目1単位以上履修すること。

(注) 共通教育科目については、比治山ベーシック科目の7単位以上、および教養科目の4単位以上、合計12単位以上を修得してください。詳細については、各学科の「教育課程表」と併せて「卒業要件・資格等欄」で確認してください。

教科及び教職
に関する科目
及び単位数

総合生活デザイン学科 中学校教諭二種免許状(家庭)

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数					
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項		最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修 方法等
					必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	各科目 1単位 以上	生活経営学　○	2		4	○は、一般的包括的内容を含む科目
		被服学(被服製作実習を含む。)		人間関係論(含家族関係)　○	2		4	
		食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)		衣生活論　○	2		2	
				ファッション造形実習Ⅰ　○	1		1	
				栄養学　○	2		2	
		食品学　○		2		3		
	食生活実習Ⅰ　○	1		1				
住居学	住生活論　○	2		1				
保育学(実習を含む。)	保育学　○	2		2				
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		2	家庭科教育法	2		2	
計			12	必要単位数	18			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		6	教育基礎論	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職入門	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育の制度と経営	2		4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2		3	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	1		2	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程総論	1		3	

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修方法等
				必	選		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	道徳教育の理論と方法	1		3	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		2	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		3	
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	1		3	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		4	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		4	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4	
			教育実習Ⅰ	2		3・4	
			教育実習Ⅱ	2		3・4	
	学校体験活動		—	—			
	教職実践演習	2	教職実践演習(中学校)	2		4	
計		19	必要単位数	26			
大学が独自に設定する科目	—	4	介護等体験指導 学校支援ボランティア	1	1	3・4 1～4	大学が独自に設定する科目として算入できる単位 ①12単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②19単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から4単位以上とする
総計		35	必要単位数	45			

教科及び教職
に関する科目
及び単位数

美術科 中学校教諭二種免許状(美術)

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数									
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項		最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修方法等				
					必	選						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	絵画(映像メディア表現を含む。)	各科目 1単位 以上	絵画・マンガ ○ 日本画Ⅰ 洋画Ⅰ	2	4 4	1 3 3	○は、一般的包括的内容を含む科目				
		彫刻		立体 ○	1		1					
		デザイン(映像メディア表現を含む。)		デザイン・映像 ○ マンガ・キャラクターⅠ 映像・アニメーションⅠ グラフィックデザインⅠ 工芸デザインⅠ CG演習Ⅰ CG演習Ⅱ	2	4 4 4 4 2 2	1 3 3 3 1 2					
				工芸	工芸 ○	2			1			
				美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	美術史Ⅰ ○ 美術史Ⅱ ○ 色彩学	2 2 2	1 2 1					
					各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		2		美術科教育法	2		2
					計		12		最低修得単位数		18	
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育基礎論	2		2					
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門		2		1						
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営		2		4						
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学		2		3						
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論		1		2						
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論		1		3						

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	道徳教育の理論と方法	1		3	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		2	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		3	
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	1		3	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		4	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		4	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—		
	—		—	—	—		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4	
	教育実習		教育実習Ⅰ	2		3・4	
	教育実習		教育実習Ⅱ	2		3・4	
	学校体験活動	—	—	—			
	教職実践演習	2	教職実践演習(中学校)	2		4	
計		19	最低修得単位数	26			
大学が独自に設定する科目	—	4	介護等体験指導	1		3・4	大学が独自に設定する科目として算入できる単位
			学校支援ボランティア		1	1～4	
—		—					①12単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②19単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から4単位以上とする
総計		35	最低修得単位数	45			

- (注) (1) 「教育実習Ⅰ・Ⅱ」を履修するためには、1年次後期までの教科及び教職に関する科目(教科に関する専門的事項を除く)の単位をすべて修得していることが必要です。
- (2) 中学校教諭の普通免許状を授与するための条件として、**介護等体験**(7日間)が必要です。詳細についてはその都度掲示します。
- (3) 「教職実践演習(中学校)」の履修は、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得見込みであること(過年度生も同様)、および、教科及び教職に関する科目のうち、「教職実践演習(中学校)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。各自、記録・保管の「履修カルテ」がないと履修できません。
- (4) 「履修カルテ」について
 ○教員免許取得に必要です。
 ○「教職入門」(1年前期)で各自履修カルテを購入し、2年間を通して保管作成して下さい。

※教育職員免許状の取得を希望しない者も、教職課程に関連する科目を履修することができます。ただし、「教育実習指導」、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「教職実践演習(中学校)」、「家庭科教育法」、「美術科教育法」、「介護等体験指導」、「学校支援ボランティア」の履修はできません。

②幼稚園教諭 二種免許状

幼児教育科の学生が、幼稚園教諭二種免許状を取得するには、基礎資格(短期大学士の学位)を有し、また共通教育科目、教科及び教職に関する科目について所定の単位(最低修得単位)を修得しなければなりません。

免許状の種類	基礎資格	本学において修得することを必要とする授業科目の単位数	
		共通教育科目	教科及び教職に関する科目
幼稚園教諭二種免許状	短期大学士の学位を有すること	9	38

共通教育科目 及び単位数

次表に示す科目毎に必要な単位数以上を修得してください。

免許法施行規則 に定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講時期			
				1 年次		2 年次	
		授業科目名	単位数	前期	後期	前期	後期
日本国憲法	2	◎ 日本国憲法	2	○			
体育	2	◎ スポーツ A	1	○			
		◎ ウエルネス論	2		○		
外国語コミュニケーション	2	◎ 英語リテラシー	1	○			
		● 英語 I	1		○		
		● 英語基礎 I	1		○		
		● 英会話 I	1	○			
情報機器の操作	2	◎ 情報リテラシー	1	○			
		◎ 文書デザイン演習	1		○		
		合計	9				

- 1) ◎は教職必修科目
2) ●の中から1科目1単位以上履修すること。

教科及び教職 に関する科目 及び単位数

幼児教育科 幼稚園教諭二種免許状

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数					
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項		最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修 方法等
					必	選		
領域及び 保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	12	領域健康の基礎	1		1	
		人間関係		領域人間関係の基礎	1		2	
		環境		領域環境の基礎	1		2	
		言葉		領域言葉の基礎	1		1	
		表現		領域表現の基礎 A	1		1	
	領域表現の基礎 B			1		1		
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)			領域健康の指導法	1		2	
				領域人間関係の指導法	1		3	
				領域環境の指導法	1		3	
				領域言葉の指導法	1		2	
				領域表現の指導法 A	1		2	
				領域表現の指導法 B	1		2	
				保育内容 (総合表現)Ⅰ	1		3	
				保育内容 (総合表現)Ⅱ	1		4	
計		12	必要単位数		14			

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数				
科目 区分	各科目に含める ことが必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修 方法等
				必	選		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育基礎論	2		1	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)を含む
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		保育者論	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		—	—	—	—	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育(保育)	2		3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2		2	
等に関する科目 指導法及び生徒指導、教育相談	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論	2		3	
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	1		4	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育相談	2		3	
関する科目 教育実践に	教育実習	5	幼稚園教育実習事前・事後指導	1		2～4	
	幼稚園教育実習		4		2～4		
	学校体験活動	—	—	—	—		
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	2		4	
計		17	必要単位数	22			
自に設定 する科目	—	2	音楽ベーシックⅠ	1		1	
			音楽ベーシックⅡ	1		2	
総計		31	必要単位数	38			

- 1) 「幼稚園教育実習事前・事後指導」及び「幼稚園教育実習」の履修にあたっては、1年前期開講科目のうちの教職必修科目である「教育基礎論」、「保育者論」、「領域健康の基礎」、「領域言葉の基礎」、「領域表現の基礎A」、「領域表現の基礎B」、「音楽ベーシックⅠ」の7科目中5科目以上の単位を修得していることを条件とします。
- 2) 「保育・教職実践演習(幼稚園)」の履修は、「幼稚園教育実習事前・事後指導」、「幼稚園教育実習」の単位を修得見込みであること(過年度生も同様)及び、教科及び教職に関する科目のうち、「保育・教職実践演習(幼稚園)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。

(3) 履修カルテについて

教職課程年間スケジュール

教員免許を取得しようとする学生は、教職課程の科目履修を始めてから「教職実践演習」(最終セメスター)の授業を履修し、さらに教員免許を取得するまで、各自「履修カルテ」を作成しなければなりません。「履修カルテ」とは、自分が教職課程の授業の中で、何を学んだか、振り返るとともに、教員の指導を受け、今後どのような学習が必要なのかを自分で考えるためのものです。

(注) 幼稚園教諭二種免許を取得する場合、「学習ポートフォリオ」となります。

【中二種免】

	介護等体験 (特別支援学校/社会福祉施設)	教育実習	教育職員免許状申請 他
1年	5月	◇教育実習希望届提出	
	7月	◇内諾依頼事前指導	
	8月	◇実習希望校へ内諾 依頼訪問	
	10月	◇介護等体験申込 (特別支援学校/社会福祉施設)	
	1月	◇誓約書提出説明会	
2年	4月	◇特別支援学校介護等体験校決定 ◇介護等体験事前指導(学内) ◇社会福祉施設介護等体験申込 書提出	◇健康診断受診(学内) 【身体測定, 尿検査】 ※実習校又は年度により 検査項目を変更する場 合があります
	5月	◇社会福祉施設介護等体験費用 納入 ◇特別支援学校介護等体験事前 指導(学外)	◇教育実習費納入 ◇教育実習事前指導 ◇教育実習直前個別指導 ◇教育実習開始～11月まで随時
	6月	◇特別支援学校介護等体験開始 (2日間)～12月まで随時 ◇社会福祉施設介護等体験先施設確認	
	7月	◇社会福祉施設介護等体験先決定 ◇社会福祉施設介護等体験事前指導(学内)	◇教員採用試験(7月～8月頃)
	8月	◇社会福祉施設介護等体験開始 (5日間)～1月末まで随時	
	10月		◇教育職員免許状申請手続説明会
	11月		◇教育職員免許状申請に係る費用提出 (免許1種類につき3,400円) 2023.1月現在
	12月		◇教育職員免許状1次申請
	3月		◇教育職員免許状2次申請 ◇教育職員免許状交付(卒業式)

(4) 資格等の取得について

① 保育士資格
(保育士証)

必修科目

次の資格等を取得するには、短期大学士の学位を有することが必要です。

幼児教育科の学生で、保育士資格(保育士証)を取得するには、児童福祉法施行規則に定める所定の単位を修得しなければなりません。

次表に示す全科目を履修してください。

保育士資格(児童福祉法施行規則告示との対比表)

厚生労働省告示による教科目等				本学における開講科目等								
系列	教科目	授業形態	開設単位数	授業科目	授業形態	単位数		開講時期				
						必修	選択	1年次		2年次		
								前期	後期	前期	後期	
必修科目 (厚生労働省告示別表1による教科目)	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理Ⅰ	講義	2		○			
		教育原理	講義	2	教育基礎論	講義	2		○			
		子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2			○		
		社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2				○	
		子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2				○	
		社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2			○		
		保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		○			
				計14			計14					
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2		○			
		子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2					○
		子どもの理解と援助	演習	1	子ども理解の理論と方法	演習	1					○
		子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2		○			
		子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2					○
				計9			計9					
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	教育課程論	講義	2			○		
		保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	1		○			
		保育内容演習	演習	5	領域健康の指導法	演習	1			○		
					領域人間関係の指導法	演習	1				○	
					領域環境の指導法	演習	1				○	
					領域言葉の指導法	演習	1			○		
					領域表現の指導法A	演習	1			○		
		保育内容の理解と方法	演習	4	領域健康の基礎	演習	1		○			
					領域人間関係の基礎	演習	1			○		
					領域環境の基礎	演習	1			○		
					領域言葉の基礎	演習	1		○			
		乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2			○		
		乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1				○	
		子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1			○		
		障害児保育	演習	2	特別支援教育(保育)	演習	2				○	
		社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1					○
		子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1					○
				計20			計20					
	保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ	実習	4			(○)	(○)	
保育実習指導Ⅰ		演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2			○	○		
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2					○	
必修科目 計			51	必修科目 計			51					

- 「保育実習指導Ⅰ」及び「保育実習Ⅰ」の履修にあたっては、1年前期開講科目のうちの卒業及び保育士資格必修科目である「教育基礎論」、「保育者論」、「保育原理Ⅰ」、「保育の心理学」、「子どもの保健」、「保育内容総論」、「領域健康の基礎」、「領域言葉の基礎」、「音楽ベーシックⅠ」の9科目中7科目の単位を修得していることを条件とします。
- 「保育・教職実践演習(幼稚園)」の履修は、「保育実習Ⅰ」の単位と「保育実習Ⅱ」及び「保育実習指導Ⅱ」あるいは「保育実習Ⅲ」及び「保育実習指導Ⅲ」のいずれかの単位を修得しているまたは修得見込みであること(過年度生も同様とする)および、保育士資格の取得に必要な専門科目のうち、「保育・教職実践演習(幼稚園)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。

選択必修科目

次表の科目の中から、9単位以上履修してください。

厚生労働省告示による教科目			本学における開講科目等							
系列	教科目	開設 単位数	授業科目	授業 形態	単位数		開講時期			
					必修	選択	1年次		2年次	
							前期	後期	前期	後期
選択必修科目 (厚生労働省告示別表2による教科目)	保育の本質・目的に関する科目	15以上	保育原理Ⅱ	講義		2				○
	保育の対象の理解に関する科目		教育心理学	講義		2		○		
	保育の内容・方法に関する科目		教育方法論	講義		2			○	
			領域表現の基礎A	演習		1	○			
			領域表現の基礎B	演習		1	○			
			領域表現の指導法B	演習		1		○		
			保育内容(総合表現)Ⅰ	演習		1			○	
			保育内容(総合表現)Ⅱ	演習		1				○
			教育相談	演習		2			○	
			音楽ベーシックⅠ	演習		1	○			
			音楽ベーシックⅡ	演習		1		○		
	保育実習	3以上	保育実習指導Ⅱ	演習		1			○	(○)
			保育実習Ⅱ	実習		2			(○)	(○)
			保育実習指導Ⅲ	演習		1			○	(○)
			保育実習Ⅲ	実習		2			(○)	(○)
	選択必修科目 計		18以上	選択必修科目 計		9以上				
	合計		79以上	合計		72以上				

- 1) 「保育実習Ⅱ」及び「保育実習指導Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」及び「保育実習指導Ⅲ」のいずれか3単位を必ず修得すること。
- 2) 「保育実習Ⅱ」及び「保育実習Ⅲ」の履修にあたっては、「保育実習Ⅰ」を履修していることを条件とします。

共通教育科目

本学における開講科目		開講時期			
		1年次		2年次	
授業科目名	単位数	前期	後期	前期	後期
◎ スポーツA	1	○			
◎ ウエルネス論	2		○		
◎ 英語リテラシー	1	○			
● 英語Ⅰ	1		○		
● 英語基礎Ⅰ	1		○		
● 英会話Ⅰ	1	○			
合計	5				

- 1) ◎は資格必修科目
- 2) ●の科目のうち、1科目1単位以上を履修すること。

②秘書士
資格認定証

総合生活デザイン学科の学生で秘書士資格認定証を取得しようとする者は、全国大学実務教育協会の「秘書士資格認定に関する規程」に定める所定の単位を修得しなければなりません。

次表に示す科目をすべて(16単位)履修してください。

秘書士資格認定に関する協会の規程	本学における開講科目			開講時期			
				1年次		2年次	
領域	授業科目名		単位数	前期	後期	前期	後期
領域 1	専門教育科目	秘書学入門	2			○	
		秘書実務	2	○			
領域 2	共通教育科目	情報リテラシー	1	○			
		文書デザイン演習	1	○			
	専門教育科目	ビジネス実務基礎	2		○		
領域 3	共通教育科目	キャリアデザイン	2		○		
		日本語リテラシー	1	○			
		英語リテラシー	1	○			
	専門教育科目	プレゼンテーション	2	○			
		生活経営学	2				○
16単位以上	16単位						

※ 文書デザイン演習だけが共通教育の選択科目になっていますので、各自が必ず修得するようにしてください。

③上級秘書士 資格認定証

総合生活デザイン学科の学生で上級秘書士資格認定証を取得しようとする者は、全国大学実務教育協会の「上級秘書士資格認定に関する規程」に定める所定の単位を修得しなければなりません。

次表に示す科目をすべて(28単位)履修してください。

上級秘書士資格認定 に関する協会の規程	本学における開講科目			開講時期			
				1年次		2年次	
領域	授業科目名		単位数	前期	後期	前期	後期
領域 1	専門教育科目	秘書学入門	2			○	
		秘書実務	2	○			
		秘書総合演習	2				○
領域 2	共通教育科目	情報リテラシー	1	○			
		文書デザイン演習	1	○			
	専門教育科目	ビジネス実務基礎	2		○		
		接遇演習	2			○	
		おもてなし論	2				○
		簿記入門	2		○		
領域 3	共通教育科目	キャリアデザイン	2		○		
		日本語リテラシー	1	○			
		英語リテラシー	1	○			
	専門教育科目	プレゼンテーション	2	○			
		社会調査	2		○		
		社会行動と心理	2		○		
	共通教育科目	キャリアデザイン演習	2			○	
24単位以上	28単位						

④観光実務士資格 認定証

総合生活デザイン学科の学生で、観光実務士資格認定証を取得しようとする者は、全国大学実務教育協会の「観光実務士資格認定に関する規程」に定める所定の単位を修得しなければなりません。

次表に示す科目をすべて(28単位)履修してください。

観光実務士資格認定 に関する協会の規程	本学における開講科目		開講時期			
			1年次		2年次	
領域	授業科目名	単位数	前期	後期	前期	後期
領域 1	専門教育科目	観光総論	2	○		
		ひろしまの観光資源	2	○		
		世界遺産	2		○	
		観光英会話	2		○	
		プレゼンテーション	2	○		
		人間関係論(含家族関係)	2			○
領域 2	専門教育科目	観光実務	2	○		
		旅行関連法規	2		○	
		おもてなし論	2			○
		社会調査	2	○		
	共通教育科目	情報リテラシー	1	○		
		文書デザイン演習	1	○		
領域 3	専門教育科目	観光ビジネストレンド	2			○
		簿記入門	2	○		
	共通教育科目	キャリアデザイン	2	○		
20単位以上	28単位					

⑤フードコーディネーター3級資格

総合生活デザイン学科の学生でフードコーディネーター3級資格を取得しようとする者は、日本フードコーディネーター協会の「フードコーディネーター養成カリキュラム」において認定を受けた所定の単位を修得しなければなりません。

次表に示す科目をすべて(18単位)履修してください。

授業科目名	単位数	1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
食生活論	2		○		
生活経営学	2				○
フードデザイン	2		○		
フードコーディネート	2				○
フードビジネストレンド	2			○	
食生活実習Ⅰ	1	○			
食生活実習Ⅱ	1		○		
食品学	2			○	
栄養学	2		○		
フランス料理実習	2				○
合 計	18				